

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度					事務事業評価シート					
事務事業名	図書館運営事業（政策）						事業類型	管理・運営			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	図書館法		
			10	04	04	03			政策経費	かすみがうら市立図書館条例	
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象			
	第2節 生涯学習の充実						市民協働	行政主体			
	[1] 生涯学習						担当課係等	図書館			
3 生涯学習施設の整備充実						図書館					
事業期間	継続（平成27年度～）										

現状把握の部 (D0)

【目的】 図書館を利用する幅広い年齢層の住民に対し、生涯学習の中核施設として資料や情報の提供を行い、円滑に図書館を利用できるようにする。	【関連事業】 蔵書整備事業	
【期待される効果】 市民が読書等を通して心豊かな生活をおくることができる。	【対象者】 市民および近隣住民	
【全体概要】 市民が心豊かな生活を送るの一助として図書館を円滑に活用できるよう、日常の図書の貸出し・整理や情報の提供、読み聞かせグループや読書会などの関係団体の活動支援など図書館の適正な管理運営を推進する。	【特記事項】 平成26年10月に新たに導入した図書システムにより、貸出し業務が簡素化されたこと、また、それによりレファレンス業務が拡充されたため、27年度は図書等の貸出し冊数が増加したと推測する。	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
図書の貸出、図書検索情報提供、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座	図書の貸出、図書検索情報提供、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座	図書の貸出、図書検索情報提供、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	5,067	5,155	5,159					
	歳入計（千円）	5,067	5,155	5,159					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	07 賃金	4,714	4,830	4,838					
	08 報償費	224	216	214					
	11 需用費	68	48	46					
	12 役務費	16	16	16					
	19 負担金、補助及び交付金	45	45	45					
歳出計（千円）（A）	5,067	5,155	5,159						
（参考）	当初予算額	11,983	当初予算額	5,167	伸び率(%)	決	0.07	予	-0.15
職員人工数	0.90	0.85	0.85						
職員人件費（B）	7,047	6,536	6,835						
総事業費（A）＋（B）	12,114	11,691	11,994						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	図書等蔵書数（本館、分館）	冊	目標	128,000.00	128,000.00	135,000.00
	※26年度実績は本館のみの数字であったため修正。		実績	133,151.00	134,824.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	図書等貸出し冊数（本館、分館）	冊	目標	88,000.00	88,000.00	90,000.00
	※26年度実績は四捨五入した数字であったため実数に修正		実績	87,333.00	93,585.00	0.00
	図書館入館者数（本館）	人	目標	0.00	0.00	60,000.00
	※28年度から新たな指標に設定		実績	48,788.00	59,305.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画による
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 多くの市民が心豊かに生活していくためには必要。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 新図書システムの導入により図書等の貸出件数や来館者数が増加しているが、更に徹底させる必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 変わるものがないため、大きな影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 学校図書との連携については、現在は学校が本を取りに来る場合のみ団体貸出しをしている。本来は学校がネットで注文⇒図書館が配達というのが理想だが、現在の職員数では対応できない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 正職員が最少人数であるため、図書の貸出業務は臨時職員に頼るところが大きく、人件費の削減は市民サービスの低下を招く。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦地区と下稲吉地区に比べ、千代田地区の貸出し冊数が少ない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	要望の多い、人口集中地区（下稲吉地区）や利用者の少ない千代田地区の住民への図書の提供方法などについて検討が必要。
<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 費用対効果を意識しながら、貸し出し率の高い新刊の導入の方策を検討、実施していく。また、27年度は入館者数、貸出し冊数ともに増加し、新図書システム導入の成果が表れていると推測するが、更なる徹底を図ってほしい。</p>		
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）</p> <p>担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 誰もが利用しやすい図書館サービスの提供に努めてください。</p>		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度							
事務事業名	蔵書整備事業（政策）						事業類型	管理・運営
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	図書館法 かすみがうら市図書館条例
			10	04	04	05	政策経費	
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象
	第2節 生涯学習の充実						市民協働	行政主体
	[1] 生涯学習						担当課係等	図書館
3 生涯学習施設の整備充実								図書館
事業期間	継続（平成27年度～）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 図書館を利用する幅広い年齢層の住民に対し、生涯学習の中核施設として資料や情報の提供を行い、円滑に図書館を利用できるようにする。	【関連事業】 図書館運営事業	
【期待される効果】 市民が読書等を通して心豊かな生活をおくることができる。	【対象者】 市民および近隣住民	
【全体概要】 住民ニーズに応じた図書、雑誌、視聴覚資料等を計画的に購入、逆に、古く貸出しがない図書などについては除籍するなど、利用者の観点に立った適正な蔵書数の確保に努める。また、あわせて、利用者が借りやすいよう読書ボランティアの協力により、定期的な蔵書点検作業を行う。	【特記事項】 不要図書の有効活用のため、27年度から「生涯学習フェア」の際に、不要図書のリサイクル（希望する市民の方へ本を無料配布）に取り組んでいる。今後も継続していく。	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
・ 図書・視聴覚資料の購入 ・ 蔵書点検作業	・ 図書・視聴覚資料の購入 ・ 蔵書点検作業 ・ 不要図書の除籍、リサイクル	・ 図書・視聴覚資料の購入 ・ 蔵書点検作業 ・ 不要図書の除籍、リサイクル

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	5,749	5,485	5,462					
	歳入計（千円）	5,749	5,485	5,462					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	18 備品購入費	5,749	5,485	5,462					
歳出計（千円）（A）	5,749	5,485	5,462						
（参考）	当初予算額	7,443	当初予算額	5,485	伸び率(%)	決	-0.41	予	-0.41
職員人工数	0.90	1.05	1.05						
職員人件費（B）	7,047	8,074	8,443						
総事業費（A）＋（B）	12,796	13,559	13,905						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	図書等蔵書数（本館、分館）	冊	目標	128,000.00	128,000.00	135,000.00
	※26年度実績は本館のみであったため修正		実績	133,151.00	134,824.00	0.00
	蔵書点検回数		目標	0.00	0.00	18.00
	※28年度から新たな指標に設定。本館月1回に加え、27年度から新たに分館でも2か月に1回実施		実績	12.00	18.00	0.00
成果 指標	図書等貸出し冊数（本館、分館）	冊	目標	88,000.00	88,000.00	90,000.00
			実績	82,159.00	93,585.00	0.00
	不要図書のリサイクル冊数		目標	0.00	0.00	2,000.00
	※28年度から新たな指標に設定。生涯学習フェアの際に希望者に不要図書を配布（27年度から実施）		実績	0.00	1,765.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画による。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 多くの市民が心豊かに生活していくためには必要。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 新図書システムの導入により図書等の貸出件数は増加しているが、更に増加させるためには、限られた図書購入費の中、住民ニーズにあった、今以上に稼働率の高い図書等を購入して行く必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 変わるものがないため、大きな影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 学校図書との連携については、現在は学校が本を取りに来る場合のみ団体貸出しをしている。本来は学校がネットで注文⇒図書館が配達というのが理想だが、現在の職員数では対応できない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 事業費の削減は即、図書館の命というべき図書購入費に影響がある。人件費はボランティアの手を借りながら、最低限度の人員で対応しているため削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦地区、下稲吉地区に比べ、千代田地区の貸出し冊数が少ない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	限られた予算の中で、地域実情及び市民のニーズに的確に応じた、図書選書が重要である。
<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） 記入者：生涯学習課長 中泉栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 費用対効果を意識しながら、更に貸し出し率の高い、住民のニーズにあった図書、視聴覚資料の導入の方策、システムを検討、実施していく。（例えば 図書館司書である臨時職員から定期的に意見を聞く場を設けるなど）また、27年度に引き続き、28年度も不要図書の整理と本のリサイクルを結び付け、イベントの際などに希望者に不要図書を無料配布すること。</p>		
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） 記入者：教育部長 飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）</p> <p>担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） レファレンスサービスの充実や図書館ネットワークの活用に努めてください。</p>		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度						事務事業評価シート			
事務事業名	ブックスタート事業（政策）						事業類型	広報・啓発		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし	
			10	04	04	07				
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象		
	第1節 教育の充実						市民協働	行政主体		
	[1] 幼児教育						担当課係等	図書館		
1 幼児教育の推進						図書館				
事業期間	継続（平成27年度～）									

現状把握の部 (D0)

【目的】 子育て支援の一環として、生後4ヶ月児及びその保護者を対象に、赤ちゃん絵本を介して心のきっかけづくりをする。	【関連事業】 母子保健事業	
【期待される効果】 新しい図書館ファンの開拓	【対象者】 市内在住4ヶ月児の保護者	
【全体概要】 子育て支援の一環として、また、新しい図書館ファンの開拓のため、保健センターやこども未来室と連携し、民生委員やボランティアの協力を得て、4か月児検診の会場で赤ちゃんとその保護者を対象に絵本の配布と読み聞かせを実施。	【特記事項】 4か月児検診に参加した全親子に絵本を配布している。	
【平成26年度 事業内容】 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布	【平成27年度 事業内容】 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布	【平成28年度 事業内容】 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度						
財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	自主財源	149	337	342						
	歳入計（千円）	149	337	342						
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）						
	11 需用費	149	337	342						
歳出計（千円）（A）		149	337	342						
（参考）		当初予算額	149	当初予算額	337	伸び率(%)	決	1.48	予	1.48
職員人工数		0.20	0.20	0.20						
職員人件費（B）		1,566	1,538	1,609						
総事業費（A）＋（B）		1,715	1,875	1,951						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動指標	ブックスタート実施回数	回	目標	12.00	12.00	12.00
	年間のブックスタート実施回数		実績	12.00	12.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	ブックスタートパック受取人数	人	目標	330.00	330.00	330.00
	ブックスタートパック受取人数		実績	272.00	278.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画による。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 子育て支援の一環として、かつ、本好きの心豊かな人間を育成する第一歩として重要。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 対象者（4か月検診児童）が限定されているため。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 4か月検診時の絵本の配布は保護者などに定着しているため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 現在、保健センター、子ども未来室との連携により事業を実施している。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 現在、民生委員やボランティアによる無償協力で事業を実施していることから、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 対象者は保健センターの4か月児検診児童及び保護者全員であるため。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	絵本配布後も図書館に来館してもらえるよう絵本と一緒に図書カード申込書を配布しているが、図書館定着のための更なる策を検討していく必要がある。
<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） 記入者：生涯学習課長 中泉栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 新しい図書館ファンの開拓の意味でも、市民ボランティアの手を借りて、今まで通りブックスタート事業に取り組んでいく。その後の図書館定着のため、図書館読み聞かせ会のチラシ配布など、情報提供にも努めること。</p>		
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） 記入者：教育部長 飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）</p> <p>担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 読み聞かせボランティアの養成に努め、全ての赤ちゃんと保護者に楽しい読書体験をさせてください。また、再結成された高校生会の事業に組み入れることを検討してください。</p>		